

第3章 データヘルス計画

1 台東区国民健康保険の現状分析

KDBシステム及び台東区国保の平成28年度のレセプトデータ等を基にした分析を行いました。

医療費については、基本的に医科及び調剤レセプトデータを集計し、10割の金額で記載しています。

なお、特定健康診査及び特定保健指導に関しては、「第4章 台東区国民健康保険特定健康診査等実施計画（第3期）」に詳細を記載します。

(1) 医療基礎情報

① 医療給付の年度別状況

国保加入者の減少に伴い、台東区国保全体の医療給付件数及び医療費等も減少していますが、一人あたりの医療費は増加しています。

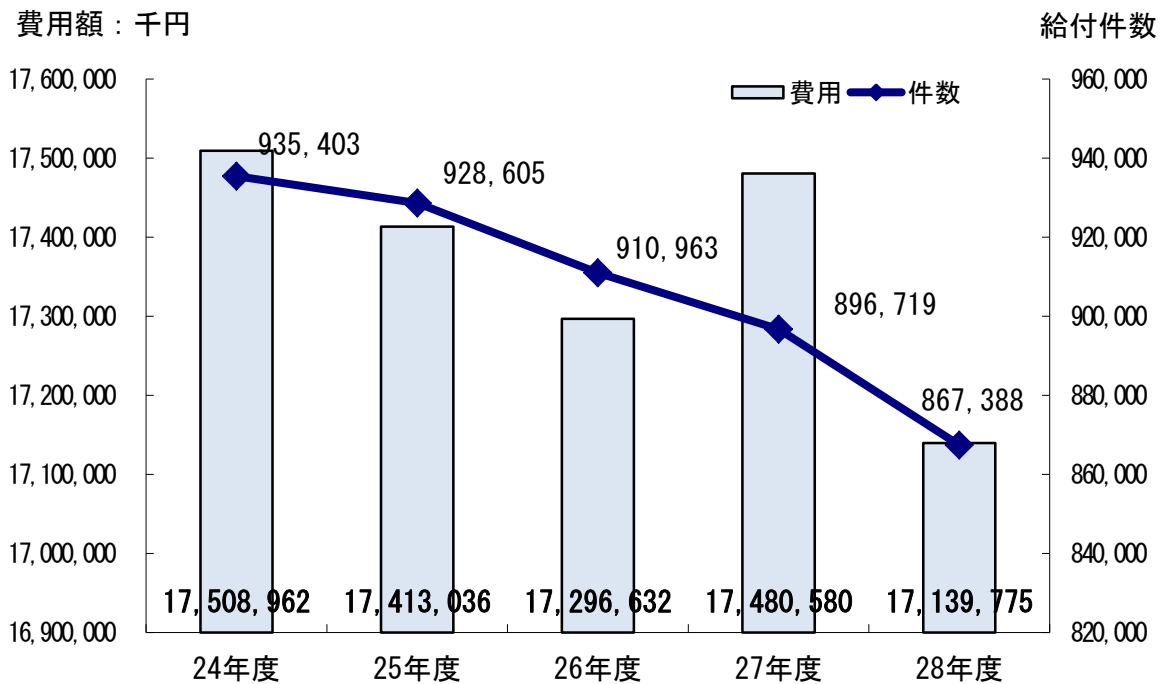
【図表： 3-1】

年度	年間平均 被保険者数 A	件数 B	費用額 C	一人あたりの 費用額 C/A	1件あたりの 費用額 C/B
	人	件	円	円	円
24年度	62,495	935,403	17,508,961,553	280,166	18,718
25年度	61,824	928,605	17,413,036,306	281,655	18,752
26年度	60,496	910,963	17,296,632,174	285,914	18,987
27年度	59,137	896,719	17,480,580,206	295,595	19,494
28年度	56,645	867,388	17,139,775,371	302,583	19,760

※「平成29年度版（平成28年度実績）国保のあらまし」より。

※この表は台東区国保全体の費用比較のため、歯科レセプト、紙レセプト、療養費等の件数及び費用を含む。

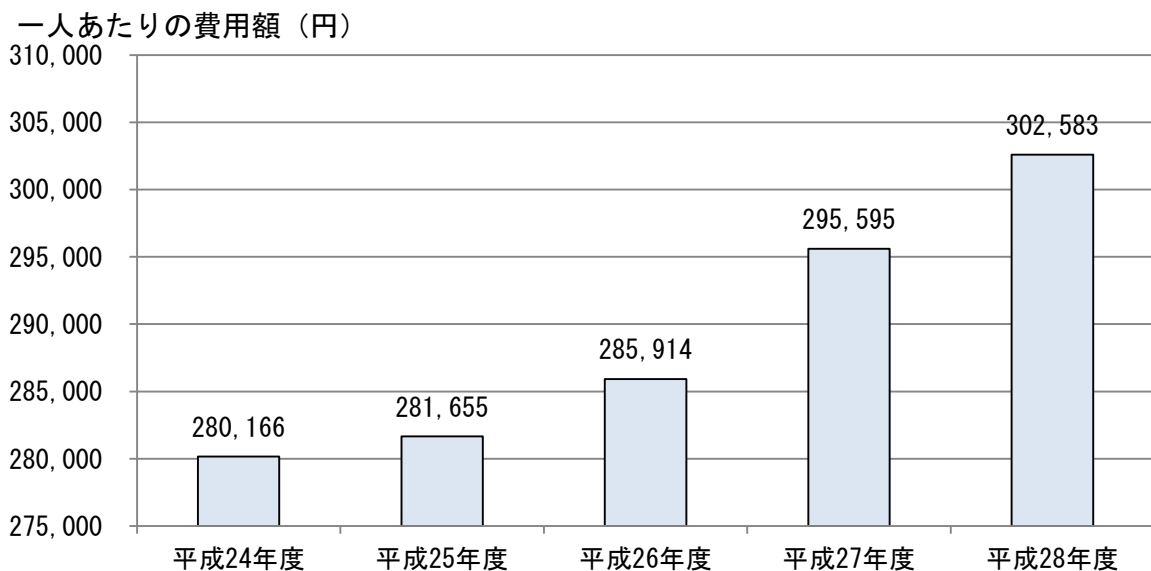
【図表： 3-2】



※「平成29年度版（平成28年度実績）国保のあらまし」より。

※このグラフは台東区国保全体の費用比較のため、歯科レセプト、紙レセプト、療養費等の件数及び費用を含む。

【図表： 3-3】



※「平成29年度版（平成28年度実績）国保のあらまし」より。

※このグラフは台東区国保全体の費用比較のため、歯科レセプト、紙レセプト、療養費等の件数及び費用を含む。

② KDBシステムから抽出した平成 28 年度の医療基礎情報

レセプト 1 件あたりの医療費は 35,940 円で、東京都及び全国よりも高くなっています。また、外来・入院別の費用等も、東京都及び全国よりも高くなっています。

【図表： 3-4】

区 分	台東区	東京都	全国
レセプト 1 件あたりの医療費 (円)	35,940	32,030	35,330
外来費用の割合 ※1	63.4%	64.1%	60.1%
1 件あたり医療費 (円)	23,330	20,970	21,820
1 人あたり医療費 (円)	13,360	12,630	14,580
1 日あたり医療費 (円)	14,990	13,550	13,910
1 件あたり受診回数	1.6	1.5	1.6
入院費用の割合 ※2	36.6%	35.9%	39.9%
1 件あたり医療費 (円)	558,420	542,590	531,780
1 人あたり医療費 (円)	7,720	7,080	9,670
1 日あたり医療費 (円)	40,100	39,770	34,030
1 件あたり在院日数	13.9	13.6	15.6

※1 「外来費用の割合 = 外来レセプトの総点数 ÷ 医科レセプトの総点数」で算出。

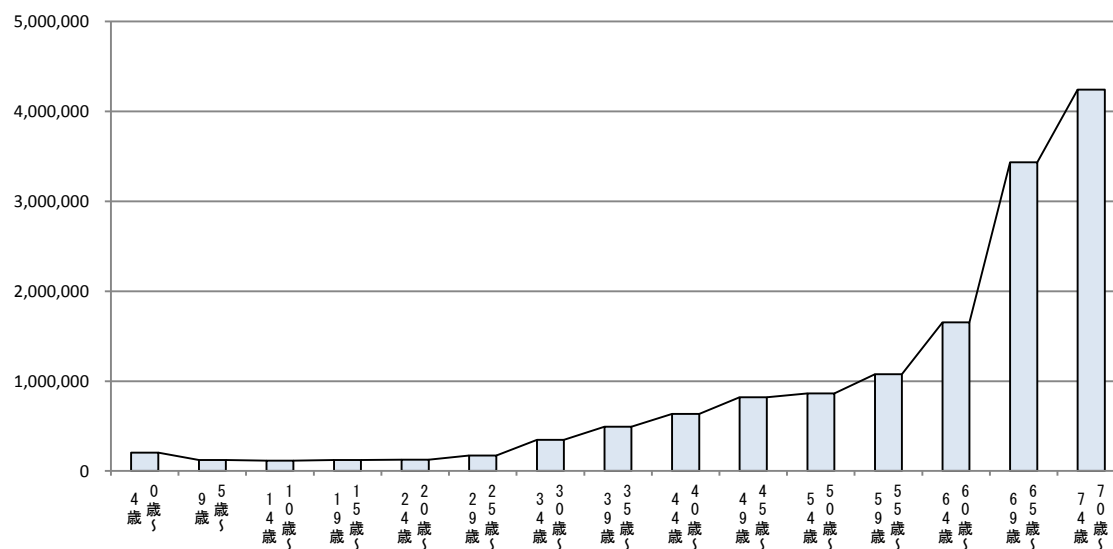
※2 「入院費用の割合 = 入院レセプトの総点数 ÷ 医科レセプトの総点数」で算出。

③ 平成 28 年度 年齢別医療費 (医科+調剤分)

平成 28 年度の医療費を 5 歳ごとの年齢で比較すると、年齢が高くなるにつれて医療費が増加しています。

【図表： 3-5】

医療費(千円)



(2) 疾病別医療費統計（大分類）

疾病分類表における大分類単位で集計した平成28年度台東区国保の医療費のうち、上位10疾病の患者数及び一人あたりの医療費です。

※疾病分類表については、巻末の資料をご覧ください。

※集計結果は電子データがないものは対象外のため、各種統計等の数値と異なります。

※患者数は疾病ごとに集計しており、複数疾病をもつ対象者がいるため合計人数とは一致しません。

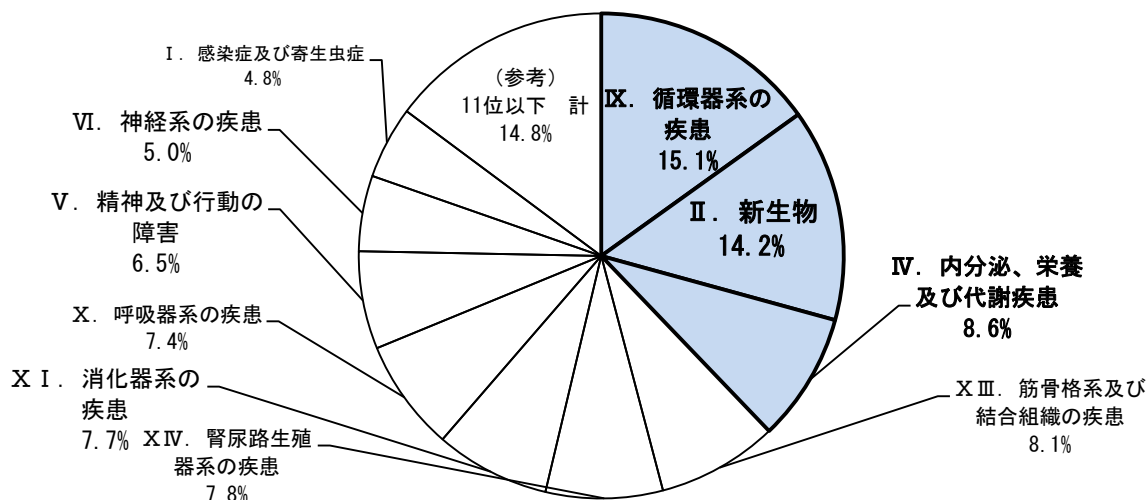
① 疾病別医療費（上位10疾病）（大分類）

平成28年度の疾病別医療費割合は、「循環器系の疾患」が医療費合計の15.1%を占めています。また、「循環器系の疾患」「新生物」「内分泌、栄養及び代謝疾患」の3項目で医療費全体の3分の1を占めています。

【図表： 3-6】

順位	疾病項目（大分類）	医療費総計（円）	構成比（%）
1	IX. 循環器系の疾患	2,177,431,500	15.1%
2	II. 新生物	2,044,118,240	14.2%
3	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	1,236,385,160	8.6%
4	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患	1,163,817,020	8.1%
5	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	1,125,246,470	7.8%
6	XI. 消化器系の疾患	1,104,122,580	7.7%
7	X. 呼吸器系の疾患	1,073,373,290	7.4%
8	V. 精神及び行動の障害	939,954,640	6.5%
9	VI. 神経系の疾患	727,071,100	5.0%
10	I. 感染症及び寄生虫症	696,409,620	4.8%
（参考）11位以下 計		2,138,440,040	14.8%
疾病全体		14,426,369,660	100%

【図表： 3-7】



② 疾病別医療費割合上位 10 疾病の患者数（大分類）

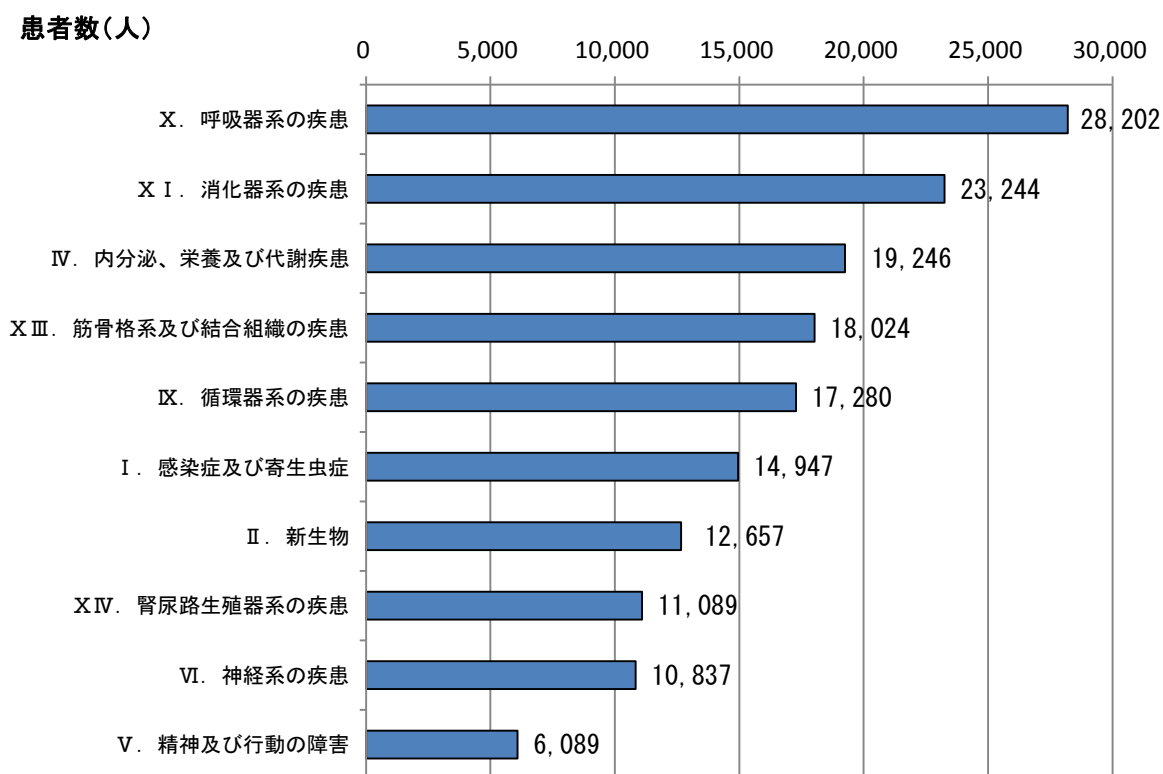
平成 28 年度の疾病別医療費割合上位 10 疾病からみた患者数の多い疾病は、「呼吸器系の疾患」「消化器系の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」です。「呼吸器系の疾患」「消化器系の疾患」の患者数は 2 万人を超えています。

【図表： 3-8】

順位	疾病項目（大分類）	患者数（人）	患者数／患者数（全体）
1	X. 呼吸器系の疾患	28,202	58.6%
2	X I. 消化器系の疾患	23,244	48.3%
3	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	19,246	40.0%
4	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	18,024	37.4%
5	IX. 循環器系の疾患	17,280	35.9%
6	I. 感染症及び寄生虫症	14,947	31.0%
7	II. 新生物	12,657	26.3%
8	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	11,089	23.0%
9	VI. 神経系の疾患	10,837	22.5%
10	V. 精神及び行動の障害	6,089	12.6%

※患者数全体：48,143 人

【図表： 3-9】



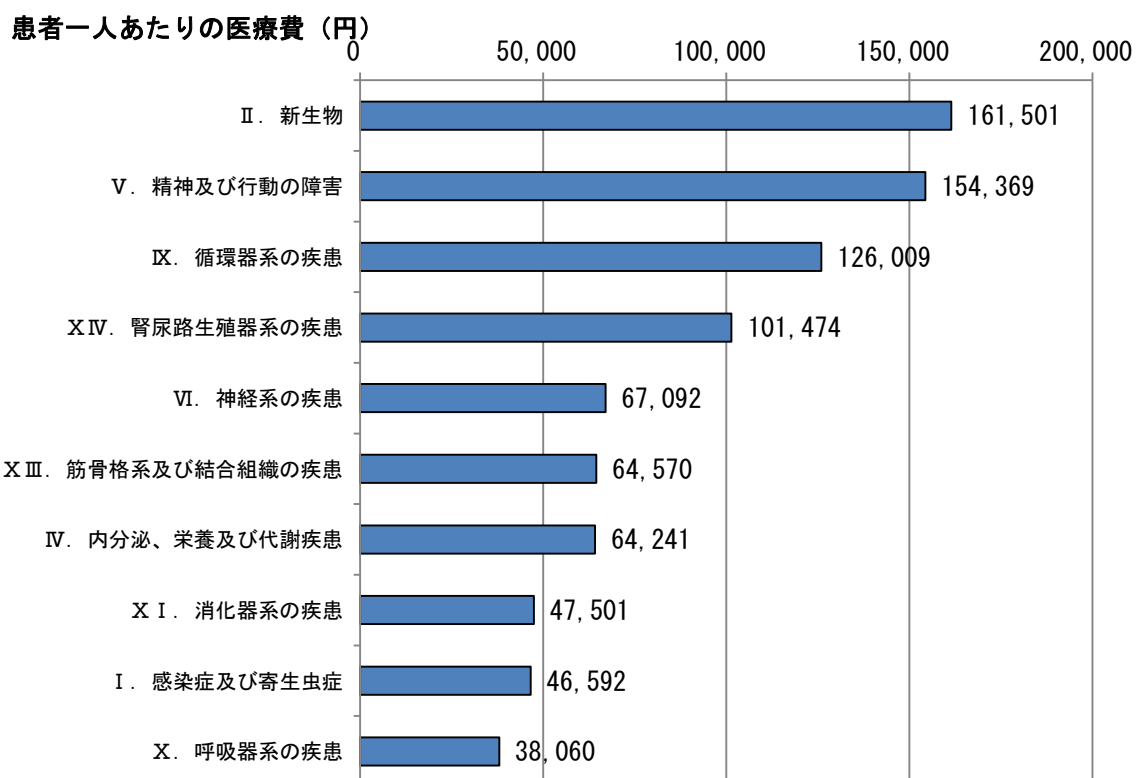
③ 疾病別医療費割合上位 10 疾病の一人あたり医療費（大分類）

平成 28 年度の疾病別医療費割合上位 10 疾病からみた患者一人あたりの医療費では、「新生物」「精神及び行動の障害」「循環器系の疾患」が上位になっています。

【図表： 3-10】

順位	疾病項目（大分類）	患者一人あたりの医療費（円）
1	Ⅱ. 新生物	161,501
2	Ⅴ. 精神及び行動の障害	154,369
3	Ⅸ. 循環器系の疾患	126,009
4	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	101,474
5	Ⅵ. 神経系の疾患	67,092
6	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	64,570
7	Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患	64,241
8	XⅠ. 消化器系の疾患	47,501
9	Ⅰ. 感染症及び寄生虫症	46,592
10	X. 呼吸器系の疾患	38,060

【図表： 3-11】



(3) 疾病別医療費統計（中分類）

疾病分類表における中分類単位で集計した平成28年度台東区国保の医療費のうち、上位10疾病の患者数及び一人あたりの医療費です。

※疾病分類表については、巻末の資料をご覧ください。

※集計結果は電子データがないものは対象外のため、各種統計等の数値と異なります。

※患者数は疾病ごとに集計しており、複数疾病をもつ対象者がいるため合計人数とは一致しません。

① 疾病別統計（医療費上位10疾病）（中分類）

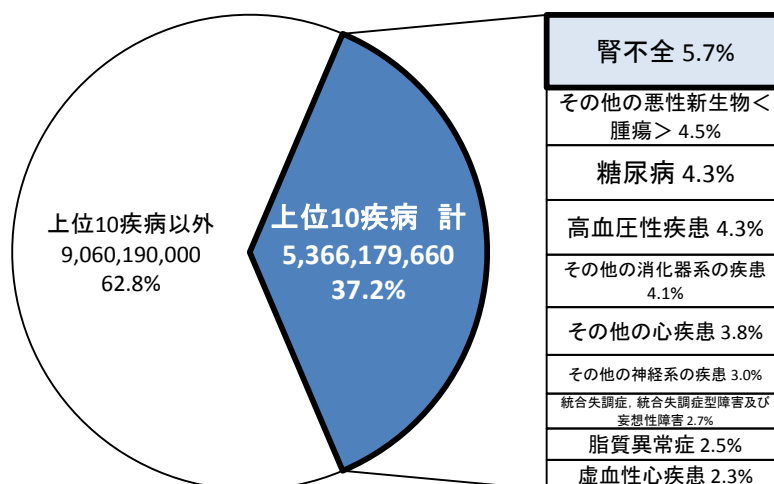
平成28年度の中分類の疾病別医療費の割合は、人工透析が集計対象に含まれる「腎不全（大分類：XIV. 腎尿路生殖器系の疾患）」が医療費全体の5.7%を占めています。

【図表：3-12】

順位	中分類疾病項目（ ）は大分類の番号)		医療費（円）	医療費全体の構成比（%）
1	(XIV) 1402	腎不全	822,364,270	5.7%
2	(II) 0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	650,975,260	4.5%
3	(IV) 0402	糖尿病	618,828,700	4.3%
4	(IX) 0901	高血圧性疾患	616,769,590	4.3%
5	(XI) 1113	その他の消化器系の疾患	593,673,640	4.1%
6	(IX) 0903	その他の心疾患	541,548,820	3.8%
7	(VI) 0606	その他の神経系の疾患	437,458,130	3.0%
8	(V) 0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	392,827,830	2.7%
9	(IV) 0403	脂質異常症	354,756,260	2.5%
10	(IX) 0902	虚血性心疾患	336,977,160	2.3%
上位10疾病 計			5,366,179,660	37.2%

※疾病全体：14,426,369,660円

【図表：3-13】



② 疾病別医療費割合上位 10 疾病の患者数（中分類）

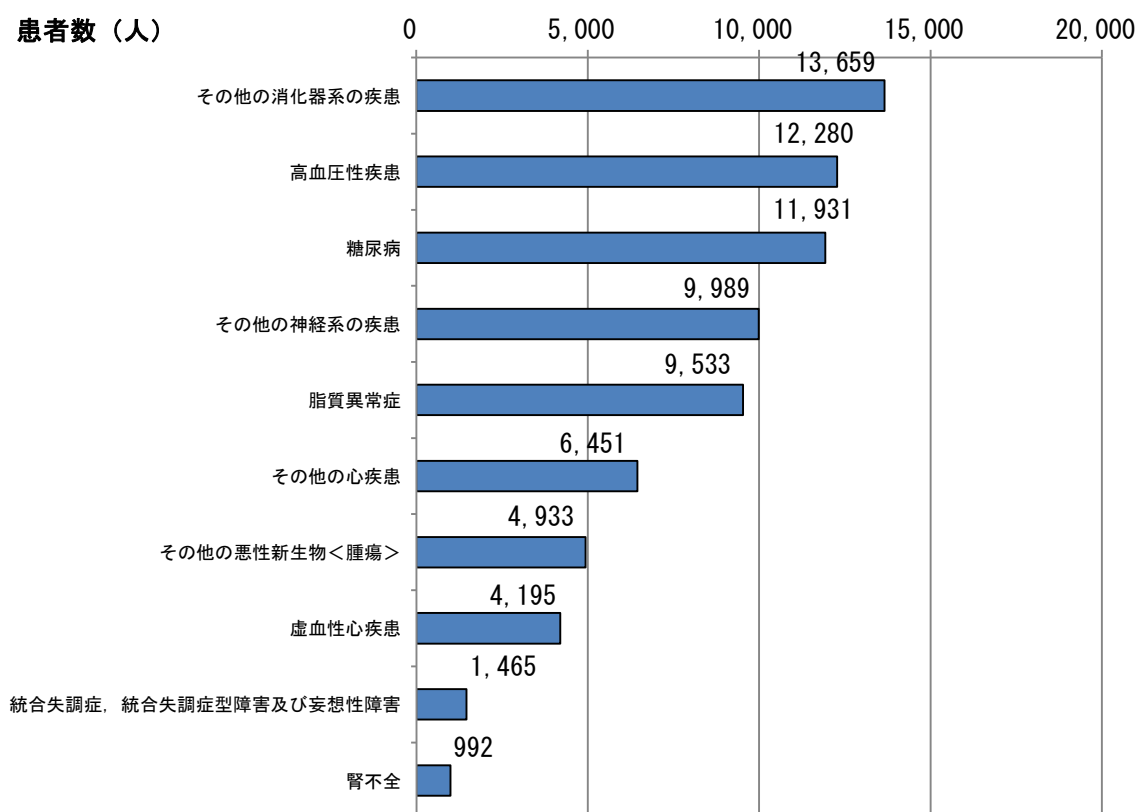
中分類の疾病別医療費割合上位 10 疾病からみた患者数の多い疾病は、「その他の消化器系の疾患（大分類：X I．消化器系の疾患）」「高血圧性疾患（大分類：IX．循環器系の疾患）」「糖尿病（大分類：IV．内分泌、栄養及び代謝疾患）」です。

【図表： 3-14】

順位	中分類疾病項目（（）は大分類の番号）		患者数（人）	患者数/ 患者数 （全体）
1	(X I) 1113	その他の消化器系の疾患	13,659	28.4%
2	(IX) 0901	高血圧性疾患	12,280	25.5%
3	(IV) 0402	糖尿病	11,931	24.8%
4	(VI) 0606	その他の神経系の疾患	9,989	20.7%
5	(IV) 0403	脂質異常症	9,533	19.8%
6	(IX) 0903	その他の心疾患	6,451	13.4%
7	(II) 0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	4,933	10.2%
8	(IX) 0902	虚血性心疾患	4,195	8.7%
9	(V) 0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	1,465	3.0%
10	(XIV) 1402	腎不全	992	2.1%

※患者数全体：48,143 人

【図表： 3-15】



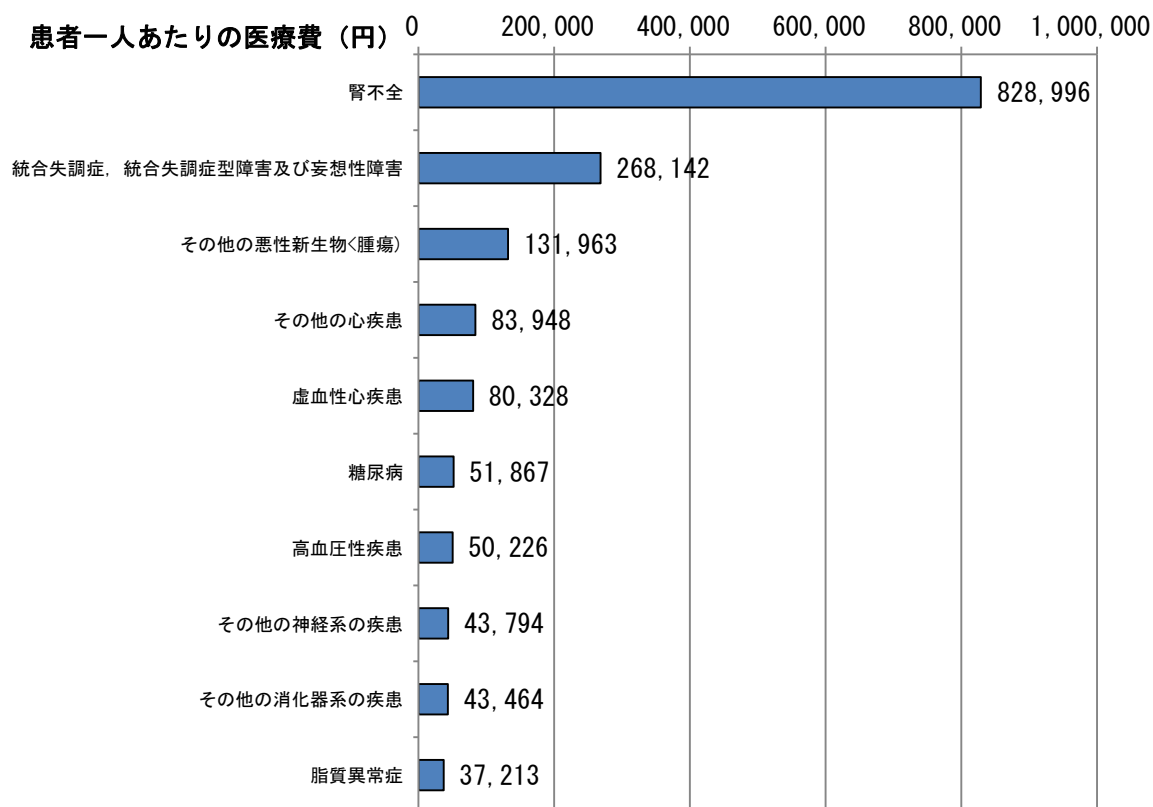
③ 疾病別医療費割合上位 10 疾病の一人あたり医療費（中分類）

中分類の疾病別医療費割合上位 10 疾病で一人あたりの医療費が高い疾病は、「腎不全（大分類：XIV. 腎尿路生殖器系の疾患）」「統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害（大分類：V. 精神及び行動の障害）」「その他の悪性新生物＜腫瘍＞（大分類：II. 新生物）」です。

【図表： 3-16】

順位	中分類疾病項目（ ）は大分類の番号)		患者一人あたりの医療費(円)
1	(XIV) 1402	腎不全	828,996
2	(V) 0503	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	268,142
3	(II) 0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	131,963
4	(IX) 0903	その他の心疾患	83,948
5	(IX) 0902	虚血性心疾患	80,328
6	(IV) 0402	糖尿病	51,867
7	(IX) 0901	高血圧性疾患	50,226
8	(VI) 0606	その他の神経系の疾患	43,794
9	(XI) 1113	その他の消化器系の疾患	43,464
10	(IV) 0403	脂質異常症	37,213

【図表： 3-17】



④ レセプトデータからみた台東区国保加入者の糖尿病の状況

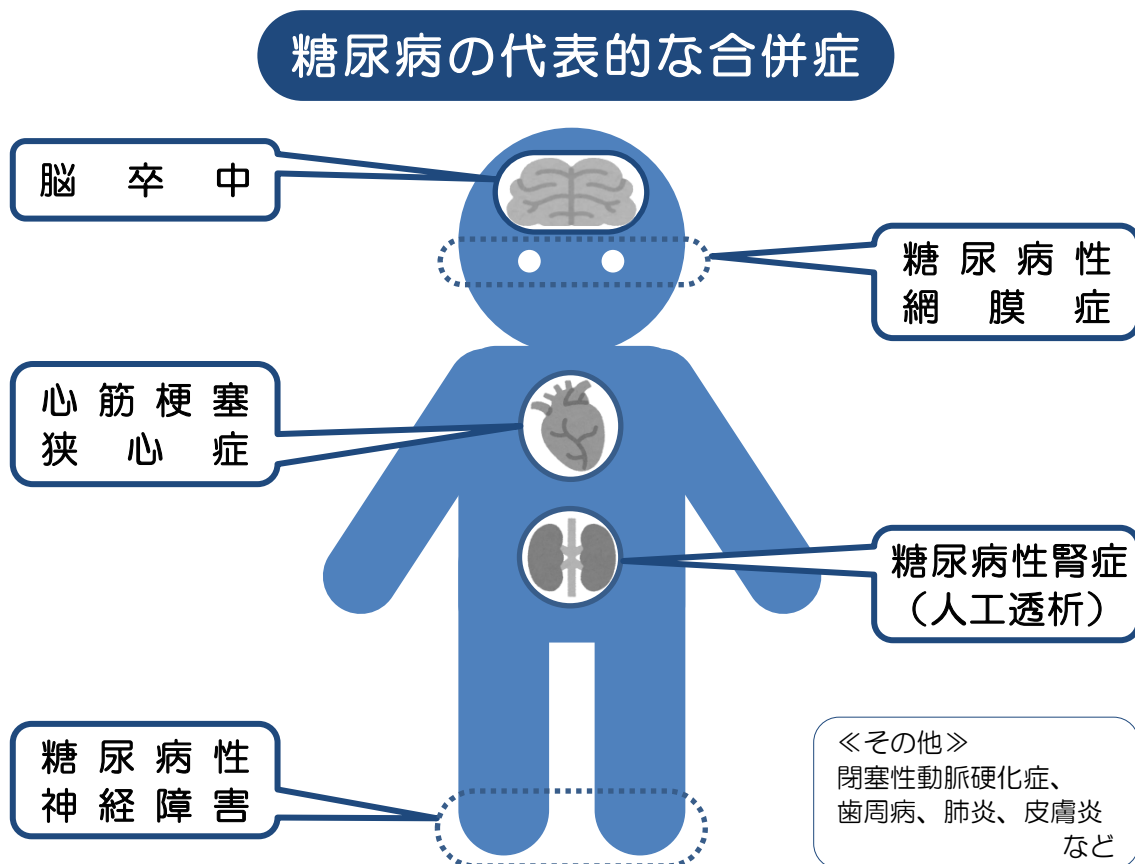
疾病分類表における中分類の項目である「糖尿病」は、血糖を下げる働きを持つインスリンが作用できずに血糖値が高くなっている状態です。

糖尿病には、遺伝や環境が原因とも言われている「1型糖尿病」と内臓脂肪の増加や運動不足による肥満が主な原因であると言われる「2型糖尿病」があり、日本の糖尿病患者の95%は「2型糖尿病」と言われています。

糖尿病は自覚症状が少ないですが早期に対応せずにいると、症状が進行し医療費の増や日常生活に大きな影響をあたえる視覚障害、心筋梗塞などの循環器系の疾病の発症や人工透析を導入する可能性が高くなります。

平成28年度の台東区国保加入者では、患者数全体の24.8%にあたる11,931人に糖尿病での医療機関受診が確認されており（P13【図表：3-14】）、医療費も全体の4.3%にあたる約6億1,883万円となっています。（P12【図表：3-12】）

【図表：3-18】



厚生労働省 スマート・ライフ・プロジェクト「糖尿病の合併症」より作成

⑤ 台東区国保加入者の人工透析の状況

疾病分類表における中分類の項目である「腎不全」の集計範囲には、年間の医療費が高額になる人工透析が含まれており、平成28年度の台東区国保加入者のうち205人が人工透析を受けていると確認されています。

平成28年度の台東区国保加入者の人工透析患者の医療費は約12億343万円、一人あたりでみると約587万円と高額な医療費がかかっています。

人工透析の起因疾病は、「糖尿病性腎症（2型糖尿病）」が146人おり、人工透析患者の71.2%の割合を占めています。

また、人工透析の患者数は男性が女性の約3倍となっています。

【「透析」に関する診療行為が行われている患者数】

【図表： 3-19】

透析患者数（人）		
計	男性	女性
205	151	54

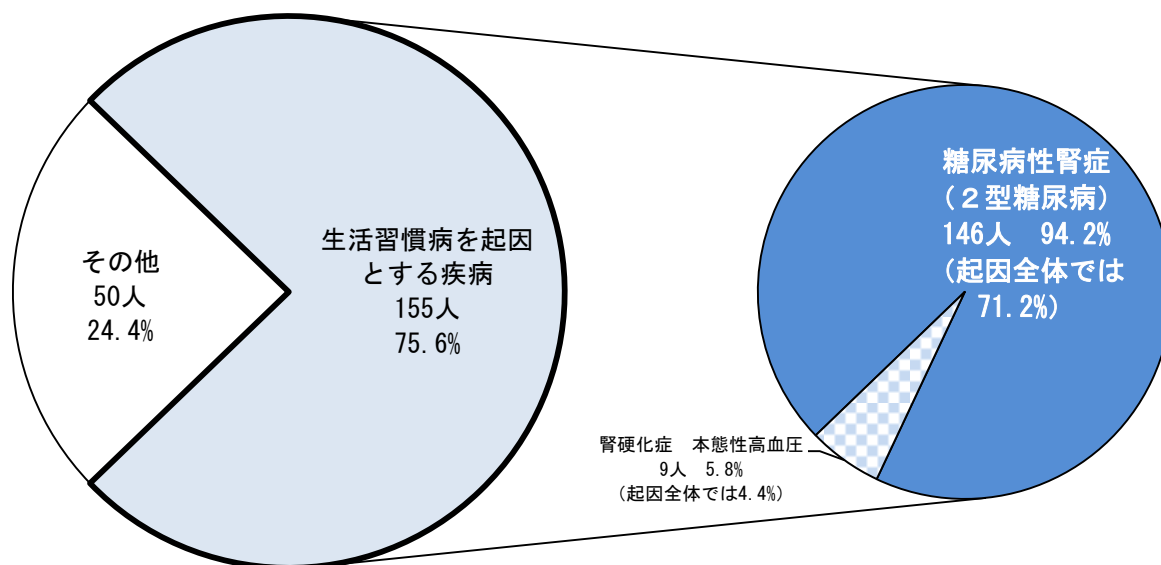
※対象診療年月内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

【透析患者の医療費と起因】

【図表： 3-20】

透析患者数（人）	医療費（円）	患者一人あたりの医療費（円）	患者一人あたりひと月あたりの医療費（円）
205	1,203,430,650	5,870,393	489,199

【図表： 3-21】

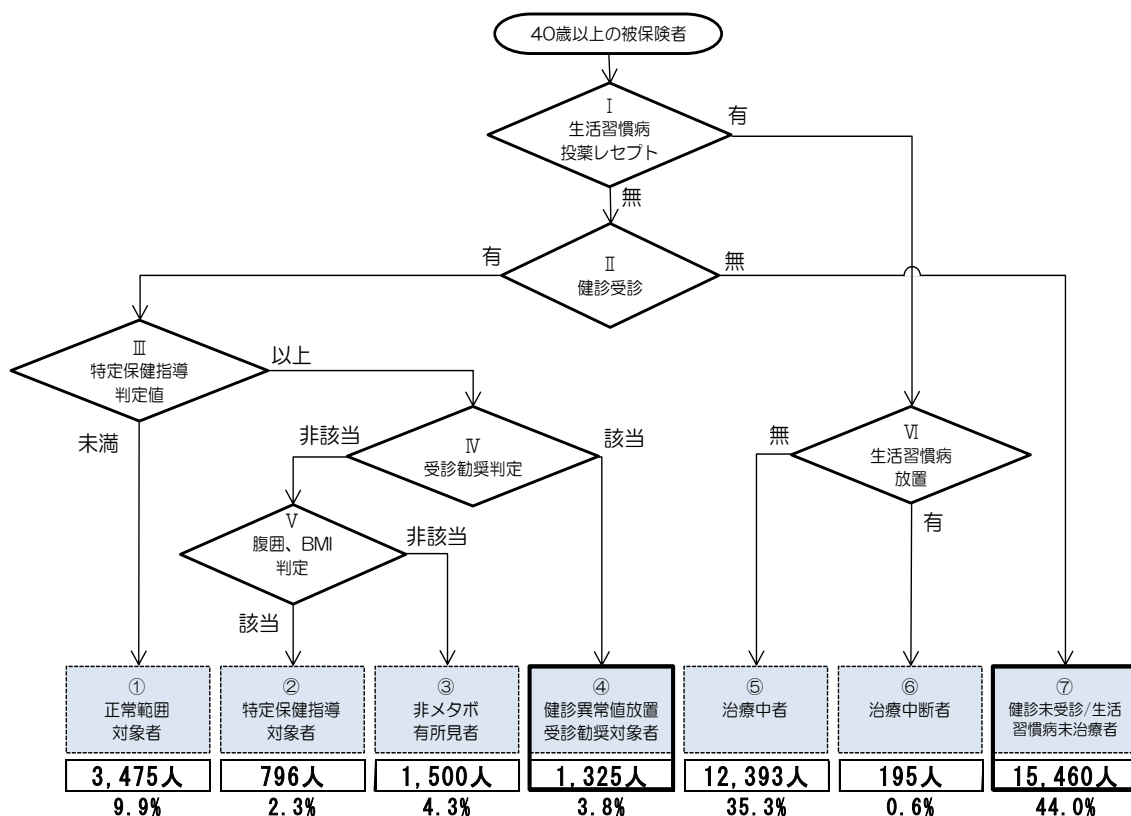


(4) 特定健康診査対象者のレセプトデータによる検証

平成28年度の台東区国民健康保険特定健康診査対象者を特定健康診査の受診状況とレセプトデータを紐づけて分析すると、特定健康診査の結果値が受診勧奨領域ですが、生活習慣病に関するレセプトが確認できない（医療機関の受診が確認できない）「④健診異常値放置受診勧奨対象者」が3.8%となっています。

また、特定健康診査の未受診者かつ生活習慣病のレセプトも確認できないため台東区国保は健康状態を把握することができない「⑦健診未受診/生活習慣病未治療者」が44.0%となっています。この区分の対象者には健康状態に問題がない対象も含まれている可能性があります。健康の維持増進や疾病の早期発見のため健診等を勧める必要があります。

【図表： 3-22】

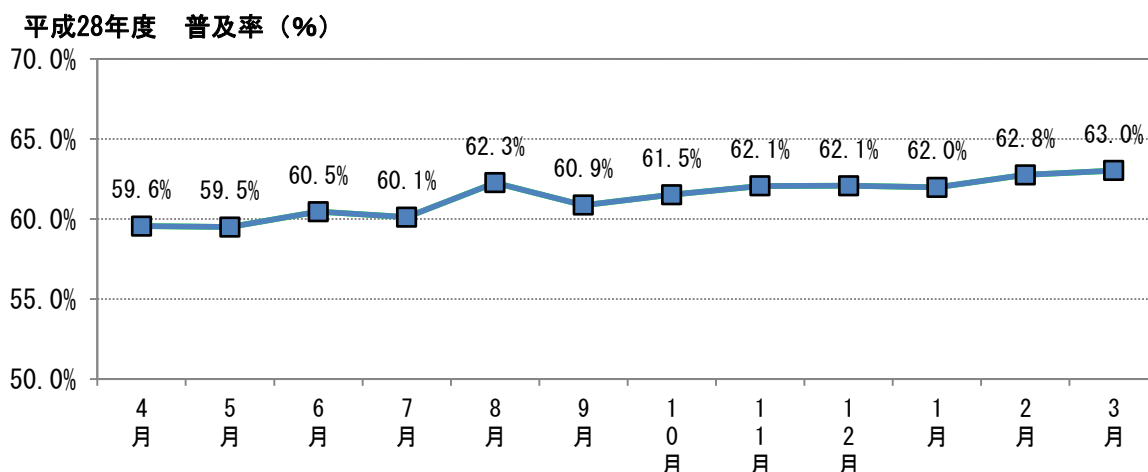


(5) 後発医薬品（ジェネリック医薬品）普及状況（数量ベース）

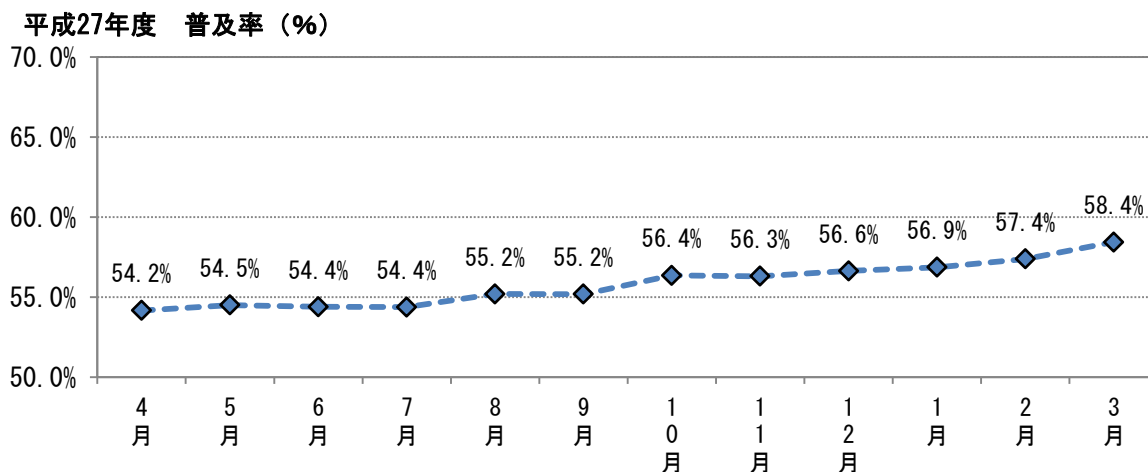
台東区国保加入者の平成28年度の診療月別の後発医薬品（以下「ジェネリック医薬品」という。）の普及割合（数量ベース）は、月平均61.3%、平成29年3月受診分では63.0%です。

平成27年度から普及率は上昇しており、年度で比較すると平成28年度は平成27年度よりも普及率が月平均5.5%上昇しています。

【図表： 3-23】



【図表： 3-24】



2 データヘルス計画における台東区国民健康保険の課題

各分析結果や現状の取組み状況から抽出される台東区国保の課題は、下記のとおりです。

【図表： 3-25】

課題1 一人あたりの医療費が増加傾向にあります。 (P6【図表： 3-1】、P7【図表： 3-3】)
国保加入者と医療費は減少していますが、一人あたりの医療費や1件あたりの医療費は増加しています。
課題2 生活習慣病に関する医療費が高くなっています。(疾病別医療費(大分類)) (P9【図表： 3-6】)
生活習慣病である高血圧性疾患や心臓に関する疾患が含まれる「循環器系の疾患」の医療費が、全体の15.1%を占めています。 同じく生活習慣病の糖尿病が含まれる「内分泌、栄養及び代謝疾患」は全体の8.6%であり、2つ合わせると医療費全体の23.7%を占めています。
課題3 腎不全の医療費が高くなっています。(疾病別医療費(中分類)) (P12【図表： 3-12】)
糖尿病や高血圧性疾患などの生活習慣病も医療費が高くなっていますが、生活習慣病が起因となる可能性が高い腎不全の医療費が医療費全体の5.7%を占めています。
課題4 医療機関への早期受診、継続受診が必要な対象者がいます。 (P17【図表： 3-22】)
適切な医療機関受診を促し、医療費の上昇にもつなげる健康状態の悪化を抑える必要があります。また、健診及び医療機関の受診が確認できず健康状態が把握できない対象者へも対応が必要です。
課題5 ジェネリック医薬品普及率(数量シェア)が伸び悩んでいます。 (P18【図表： 3-23、3-24】)
普及率は上昇していますが、国の目標値である70%にまだ達していません。さらなる取組みを検討する必要があります。

3 実施事業

データヘルス計画における台東区国民健康保険の課題を踏まえ、台東区国保加入者の「健康増進」及び「医療費の適正化」に向け、台東区国保加入者の生活習慣・健康状態の把握、生活習慣の改善、医療機関への早期受診を目的として、次の事業を実施、検討します。

(1) 実施する事業

【図表： 3-26】

事業名	実施内容	現状	目標
特定健康診査	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病の早期発見・予防のための特定健康診査の実施 【対象者】 年度末時点で40歳～74歳の国保加入者 特定健康診査未受診者への受診勧奨 【対象者】 受診期間内に特定健康診査の受診が確認できない国保加入者 	【受診率】 平成28年度 42.2%	【受診率】 平成35年度 60%
特定保健指導	<ul style="list-style-type: none"> 専門職による生活習慣の改善のための保健指導と支援（6カ月間） 【対象者】 特定健康診査の結果に基づき、生活習慣病の発症リスクが高いと判定された国保加入者 	【実施率】 平成28年度 8.0%	【実施率】 平成35年度 60%
医療機関受診勧奨	<ul style="list-style-type: none"> 受診勧奨の案内等の送付及び経過確認 【対象者】 特定健康診査の問診、腹囲、BMI、血圧、血糖、脂質の結果から医療機関への受診が必要と判定された国保加入者 	【対象者割合】 平成28年度 3.4%（463人）	・勧奨対象者の割合の減
人間ドック利用補助	<ul style="list-style-type: none"> 区内の契約医療機関で実施する日帰り人間ドック利用料金の一部の補助（年度1回のみ2万円） 【対象者】 35歳以上の国保加入者 	【利用実績】 平成28年度 429人 うち39歳以下 60人	・35歳～39歳の利用者数の増

事業名	実施内容	現状	目標
無料健康相談	・区内医師会及び区内歯科医師会の協力を得て区内医療機関で医師・歯科医師による健康相談の実施 【対象者】 国保加入者	平成28年度実績 1,855件	・利用者数の増
無料薬事相談	・区内薬剤師会の協力を得て区内調剤薬局等で薬剤師による薬事相談の実施 【対象者】 国保加入者	平成28年度実績 6,681件	・利用者数の増
健康セルフチェック支援事業	・血圧、握力、骨密度、血管年齢、物忘れ度の測定と測定結果の説明（事前予約・定員24人×10回） 【対象者】 国保加入者	平成28年度実績 参加人数212人	・利用者数の増
ジェネリック医薬品周知啓発事業	・ジェネリック差額通知の発送 【対象者】 先発医薬品利用者のうち、先発医薬品とジェネリック医薬品に一定額以上の差額が発生する可能性がある国保加入者	【普及率】 平成28年度実績 61.3% (数量シェア)	【普及率】 平成35年度 80% (数量シェア)
糖尿病予備群対策	・糖尿病の周知啓発（予防事業等の紹介等） 【対象者】 特定健康診査のHbA1cの結果が5.6%以上かつ6.4%以下で、医療機関への受診歴が確認できない国保加入者	平成28年度 対象者割合 6.6%	・特定健康診査受診結果で、糖尿病ではないと判定されるHbA1c 5.5%以下の対象者の割合の増
糖尿病未受診者対策	・医療機関への受診勧奨 ・糖尿病の周知啓発 【対象者】 特定健康診査の結果で糖尿病が強く疑われるHbA1c 6.5%以上の対象者のうち、生活習慣病での医療機関受診が確認できない国保加入者（含む医療機関未受診者）	平成28年度 対象者割合 20.3%	・対象者割合の減

(2) 計画期間中に検討する事業

【糖尿病重症化予防】

関係機関との協議、連携のもと、レセプトデータや実施する事業等の結果を分析し、台東区国保加入者で糖尿病が重症化する可能性がある対象者の把握と重症化の予防を図ります。

4 データヘルス計画の公表・周知

本計画は、広報たいとう及び区公式ホームページに掲載して周知するとともに、区政情報コーナーに配備します。

5 個人情報の保護

- ・本計画を実施するにあたり得られる個人情報については、台東区個人情報保護条例を遵守するほか、その他個人情報保護に関する法律等に基づいて取扱います。
- ・事業を外部に委託する場合も、同様の取扱いとし、契約の際は、個人情報の厳重な管理や目的外使用の禁止等を契約書に定めます。また、業務によって知り得た情報についても業務終了後も含め守秘義務を徹底するよう委託契約書に定めます。
- ・個人情報を取り扱う職員も管理（書類の紛失・盗難等）に十分に留意するものとします。

6 データヘルス計画の評価及び見直し

（１） 評価の実施主体

本計画における目的及び目標の達成状況については、台東区国民健康保険課において評価を行い、達成状況により事業の実施内容や方法等の見直しを行います。

（２） 評価の報告

評価及び進捗状況については、毎年度、台東区国民健康保険運営協議会で報告します。